

記事 ○ 平成25年度予算編成に係る予算要望活動について

○ 平成25年度予算編成に係る予算要望活動について

国の平成25年度予算編成を控え、7、8月の重点事項要望活動に引き続き、当協会として「平成25年度予算編成に係る予算要望書」(添付ファイル参照)を、去る11月15日(木)に、与党「民主党」の企業団体委員会委員長 前田武志氏(前国土交通大臣・参議院議員・比例選出(奈良))へ要請するとともに、国土交通省、総務省及び環境省への要請活動を実施いたしました。

～民主党企業団体委員長への陳情～

～民主党・前田委員長への説明～



今回の要請活動には、当協会の中鉢 裕(仙台市交通局長)会長代理と当協会理事長武林郁二が、まず、国土交通省では三役をはじめ鉄道局幹部に要望書を手渡すとともに、本田 勝・国土交通審議官、堀内丈太郎・都市鉄道政策課長等に面談し、要望事項の内容を説明いたしました。

～本田 勝・国土交通審議官への説明～



次に、総務省では、小笠原 倫明事務次官、大石利雄総務審議官、佐藤 文俊自治財政局長、村中健一・審議官(公営企業担当)、宮澤彰夫・公営企業経営室長と面談し、要望書の内容を説明いたしました。

①総務省 小笠原倫明・事務次官への要望

②総務省 佐藤文俊・自治財政局長への要望



さらに、新規事業である「エコレールラインプロジェクト事業」の実現を図るため、環境省では、三役及び総合環境政策局長に予算要望書を手渡すとともに、同局の岡谷重雄環境計画課長に面談し、要望事項である同事業の目指す観点、考え方を説明、予算化を強く要請したところです。

～環境省への要望～



当協会の平成 25 年度予算編成に係る予算要望活動は、今月 16 日に衆議院の解散等を控えているものの、現与党及び政府関係者には詳しく説明できました。これまでの会員の皆様のご協力ご支援に深く感謝申し上げます。

今後は、総選挙実施後の政府与党の動向を踏まえ、当協会の要望事項の実現を図るべく、更に努力して参りますので、会員の皆様のより一層のご支援ご協力を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先： mukaida@jametro.or.jp

予 算 要 望 書

(都市鉄道整備事業等)

平成 24 年 11 月

社団法人 日本地下鉄協会

平成 25 年度予算要求

都市鉄道整備事業

15,067 百万円

[国土交通省と環境省との連携事業]

エコレールラインプロジェクト事業

3,000 百万円

地下鉄の建設、改良につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

地下鉄は、大都市圏域における交通ネットワークの主軸であり、その新設、延伸、改良は、交通利便の向上を通じて、大都市とその周辺地域の活力の増進に極めて大きな効果をもたらします。

さらに、地下鉄は、自動車の交通量を減らし、安全・快適な生活空間を創出し、CO₂ の抑制にも寄与するところ大であります。

また、鉄道はそもそも環境負荷の少ない交通機関ではありますが、鉄道単体としても積極的に省エネ施設の導入等を図り、省電力化・低炭素化に取り組んでいるところです。

これらは、活力ある地域づくりと我が国の省エネルギー化に不可欠なものであります。

何とぞ、地下鉄の効用をご理解賜り、平成 25 年度予算の都市鉄道整備事業として **15,067 百万円**を確保し、これに対応する地方財政措置を講じていただくとともに、CO₂の中長期的な排出削減のため、対策事業として **3,000 百万円**を確保していただきますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

I. 平成 25 年度予算要求

1. 仙台市東西線の新設 (継続)
2. 福岡市七隈線の延伸 (継続)
3. 東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道、東急電鉄が結節する小竹向原駅の線路の立体交差化 (継続)
4. ホームドアの設置、バリアフリー化の推進
5. 地下鉄施設の耐震補強の推進 等

II. 国土交通省と環境省の連携事業

「持続可能な社会づくりのための重点施策(環境省)」

エコレールラインプロジェクト事業

(鉄道システム全体の省エネルギー化) (新規)